

夏



梅雨晴間(サンルームより)

理 念

地域に望まれる理想の医療を目指して

基本方針

1. 私たちは患者さんの立場にたち、安心して満足できる医療を提供します。
1. 私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
1. 私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

小粒でも大きな支え、続く安心



医療法人
(社)玄同会

小島病院



小島病院 眼科部長 瀧川 泰

糖尿病と眼合併症

(糖尿病患者数)

現在全国で糖尿病の患者さんは約1000万人、糖尿病の疑いがある患者さん(予備軍)は1000万人。合計で約2000万人いるといわれています。

(糖尿病の合併症)

糖尿病の主な合併症として糖尿病網膜症、糖尿病性腎症、糖尿病性神経症があります。その他に、心血管系の異常や脳血管系の異常、感染症を起こしやすくなるなどもあります。

(糖尿病の眼合併症)

糖尿病の眼合併症には

① 糖尿病網膜症 ② 角膜障害 ③ ぶどう膜炎
④ 白内障 ⑤ 新生血管緑内障 ⑥ 外眼筋麻痺
等があります。

なかでも、糖尿病網膜症は最も重要で、現在日本人の失明原因の第2位(1位は緑内障)となっております。

糖尿病網膜症には大きく分けて3段階の病期分類があります。(表1)

(表1)

網膜症病期	眼底所見
単純網膜症	毛細血管瘤 網膜点状・斑状・線状出血 硬性白斑・網膜浮腫 (少数の軟性白斑)
増殖前網膜症	軟性白斑 静脈異常 網膜内細小血管異常 (網膜無血管野：蛍光眼底撮影)
増殖網膜症	新生血管(網膜・乳頭上) 網膜前出血 硝子体出血 線維血管性増殖膜 牽引性網膜剥離

糖尿病の罹患期間が長くなる程、糖尿病網膜症は発症しやすくなります。また糖尿病のコントロールが悪い人程発症しやすくなります。

- 1.単純網膜症の時期には自覚症状が全くありません。
- 2.増殖前網膜症の時期には自覚症状が全くないか、あるいは軽度の視力低下を起こしますが気が付かないこともよくあります。
- 3.増殖網膜症になると末期状態で高度の視力障害をおこします。

糖尿病網膜症の治療

① 糖尿病のコントロール

いくら目の治療をしても糖尿病自体のコントロールが不良であれば効果はありません。また糖尿病網膜症がかなり進行した時点で糖尿病の治療を開始しても糖尿病網膜症の進行を止めることができなくなることがあります。

② 網膜光凝固術

網膜の出血した部位や血液が行かなくなった無血管野にレーザーを当てて悪化しないようにする治療法です。(主に増殖前網膜症に対して行います)

③ 硝子体手術

硝子体出血を起こしたり新生血管が生じたり、増殖膜が生じたときにそれらを取り除く手術をします。(主に増殖網膜症に対して行います)

④ 薬による治療

血小板凝集能抑制剤、止血剤、循環改善剤、ビタミン剤などの薬を内服します。ただこれらはあくまで補助的な治療法です。

前述の通り、初期～中期にかけては自覚症状はありません。目が見えるから大丈夫という考え方は禁物です。糖尿病又は疑いのある患者さんは年に2～3回は必ず眼科を受診して、適切な治療を受けるよう心がけましょう。

糖尿病の診療体制について

糖尿病内科 専門医 土井 綾乃

前号でもお伝えしましたが、5月から糖尿病の診療体制が充実しました。これまで川崎医科大学附属病院から派遣非常勤医師が週2回来ておりましたが、加えて当院専従の非常勤医師として着任致しました。

糖尿病は世界的に増えており、国が定める重要疾患のひとつです。皆さんも一度は耳にされたことがあるのではないのでしょうか。

さて、糖尿病の仕組みについて説明します。

糖尿病は膵臓から分泌される「インスリン」というホルモンが重要となります。インスリンは栄養素の新陳代謝に大きな役割を果たしていますが、エネルギーとして使用される主要な栄養素である糖質の代謝では特に主役を担っています。糖尿病は、そのインスリンの作用不足によって高血糖(血液中のブドウ糖濃度が高い状態)を来し、それによる様々な合併症を引き起こす病気です。ひとまとめに糖尿病といっても、原因や、重症度、併発する合併症などは人それぞれで大きく異なります。合併症は、網膜症・腎症・神経障害・脳卒中・心筋梗塞・下肢閉塞性動脈硬化症などと多岐にわたります※。

当院では、合併症を診ることができる各専門医(脳神経内科医・循環器内科医・泌尿器科医・眼科医等)と協力して診療を行っています。さらに加えてコメディカルとコラボして、糖尿病の発症予防から診断、生活のケアや薬物療法、合併症管理まで、患者さんの全身管理ができる体制となっております。これからは外来診療だけでなく、入院加療まで幅広く担っていきたいと思います。

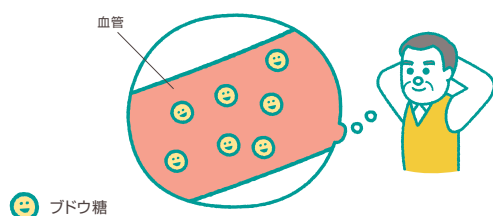
当地域の患者さんが安心して糖尿病診療を受けられるよう、また、地域の先生方から診断や入院加療のご依頼をいただければ十分に対応して参りたいと思います。

※日本糖尿病学会から一部引用

糖尿病とは

正常な状態

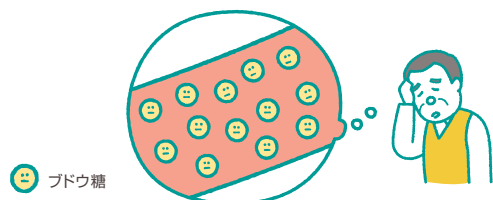
正常な状態では、インスリンなどのホルモンの作用が血液内の糖の量を一定に保ちます。



😊 ブドウ糖

糖尿病

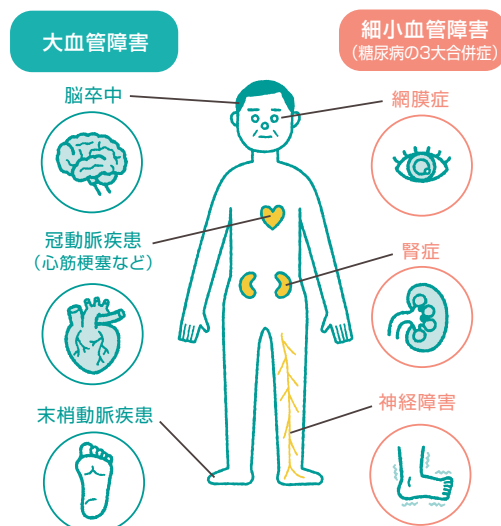
糖尿病は血液中に余分な糖がたくさんある状態です。



😞 ブドウ糖

糖尿病を放っておくと

2型糖尿病は、放っておくと様々な合併症を引き起こし、日常生活に支障をきたす可能性があります。



これらの合併症を予防するために、早くから治療を開始することが大切です。